

カナダ高緯度北極域の植物社会学的特性 Phytosociological characterization of the High Arctic Region of Canada

小島 覚^{1*}

KOJIMA, Satoru^{1*}

¹ 北方生態環境研究学房

¹Northern Oikoscape Research Atelier

カナダの高緯度北極域には、極度に寒冷な気候のため樹木はおろか低木（高さ 50 以上 5 m 以下の木本植物）も生育せず、そこには矮性低木、草本類、蘚苔類、地衣類が疎生する景観が広がっている。このような景観はしばしば極地砂漠とも呼ばれる。この地域の植生に関する植物社会学的研究の歴史は比較的新しい。Barrett (1972) は、Devon Island の植生を調査し、そこに 9 つの群集 (association) を認め、これを 7 つの群団 (alliance)、7 つのオーダー (order) に統合した。このほかカナダ高緯度地域の植生研究に関しては、Sheard & Geale (1983), Bergeron & Svoboda (1989), Kojima (1991, 1999), Batten & Svoboda (1994) などがある。演者は、これらの研究に基づいてカナダ高緯度北極域の植生を分類体系化し、4 つの群団 (ラップヒナゲシ群団、マキバチヨウノスケソウ群団、オニイワヒゲ群団、ヒメミズスゲ群団) を認めたが、これらは上位の分類単位として 2 つのオーダー (1. ムラサキクモマグサ・オーダー、2. ヒメミズスゲ・オーダー)、さらに高次の単位 (ホッキョクヤナギ・クラス) に統合されるものであった。

キーワード: カナダ, 高緯度北極域, 植生分類, 植物群落型と成立環境, ホッキョクヤナギ・クラス

Keywords: Canada, High Arctic Region, vegetation classification, vegetation types and environment, *Salicetea arcticae*